

11	総合 2	スポーツ 2	4
選手	4	やくだつ/小説	3
はぐ	7	本よみうり堂	8
は	12	伝統芸/文化	9
は	13	TV・ラジオ	11
		商況	5 6

夕刊 読賣新聞

発行所 読売新聞東京本社 〒104-8243 東京都中央区銀座6-17-1 電話(03)3242-1111(代) www.yomiuri.co.jp

画家・佐藤太清 孫がつづる

戦後、日展で活躍した日本画家の仕事や、孫にあたる女性の目から語った安田晴美著『佐藤太清 光彩の旅』が刊行された。代表作の図版に、思い出を交えたエッセーを添え、画家の優



しい心をつづっている。表紙の作品は晩年の『雪つばき』。著者は小学生の頃、庭のツバキを描こうとして、祖父の助けを求めた。すると写生の要諦を語った上で「それが難しいのだけどね」と画室に戻っていった。孫が絵描きを目指すことはないかと悟ればこそその言葉だったのではないかと、著者は記す。淡交社。税抜き1000円。

月曜文化



ありこよるで「おめけを忍び

銀座、ギャ

ラリー58。本展は銀座・京橋などで現代美術を扱う11画廊が40歳以下の新鋭作家を紹介する「新世代への視点2011」への参加企画。(市)

のト 7

満階の梧葉 月明の中
「子カラスが鳴きながら飛ぶ。(いなみ・りつこ) 中国文学
び去り、玉の屏風はひっそる者」

画家・佐藤太清 孫がつづる



戦後、日展で活躍した日本画家の仕事や、孫にあたる女性の目から語った安田晴美著『佐藤太清 光彩の旅』が刊行された。代表作の図版に、思い出を交えたエッセーを添え、画家の優
しい心をつづっている。表紙の作品は晩年の『雪つばき』。著者は小学生の頃、庭のツバキを描こうとして、祖父の助けを求めた。すると写生の要諦を語った上で「それが難しいのだけどね」と画室に戻っていった。孫が絵描きを目指すことはないかと悟ればこそその言葉だったのではないかと、著者は記す。淡交社。税抜き1000円。